

# 木津 中立区の紹介

地区の情報  
世帯数：63 世帯  
人口：205 人  
隣組数：4 組



薬王山瑠璃寺（廃寺）



参道



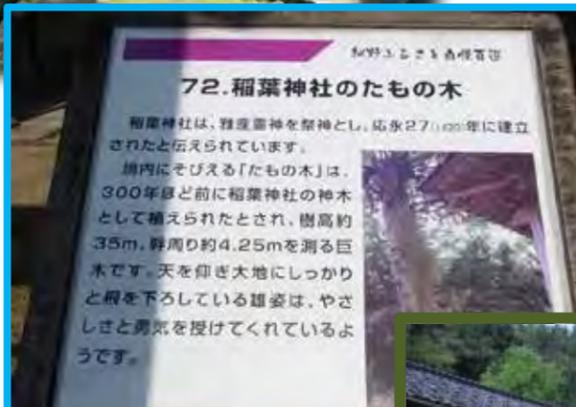
稲葉神社

網野町網野駅から、車で国道178号線に沿って西方面、引原峠を下って、しばらく走ると、長い見通しの良い川に沿った直線道路にかかります。この道路に面する集落と、南東の山裾に家が建ち並ぶ集落が「中立区」です。道路より、あまり奥行きのない地勢となっています。「木津の庄」と呼ばれた時代における中館村です。近い過去までは保育所、小学校、農協の事務所などがこの地区にあり、旧木津村の中心であったかと思えます。

木津小学校は、後に現在の橋（たちばな）小学校に統廃合され、跡地には旧網野町によって、木津温泉入浴場「高齢者すこやかセンター」が建設されました。現在、施設を引き継いだ京丹後市の指定管理者として地元の「木津連合区」で、運営されています。また、木造校舍跡の一部は京丹後市郷土資料館として運営されています。



中立区中央の国道際には、「旧網野町自慢百選」に指定された「たもの木」が、稲葉神社のそばにそびえ立っています。穀物の生育を司る神と云われる雅産霊（わくむすび）神を祀る社です。



72. 稲葉神社のたもの木  
稲葉神社は、雅産霊神を祭神とし、延暦27(849)年に建立されたと伝えられています。  
境内にそびえる「たもの木」は、300年ほど前に稲葉神社の神木として植えられたとされ、樹高約35m、幹周り約4.25mを測る巨木です。天を仰ぎ大地にしっかりと根を下ろしている雄姿は、やさしさと勇気を授けてくれているようです。



高齢者すこやかセンター



網野町郷土資料館



国道178号線西方面からの中立区

高校時代までここで過ごされて、近年、退職Uターンされた60代の方のお話ですが、当時の賑やかだった秋祭りの神輿巡行が、とっくに廃れてなくなっていると思っていたところ、今でも行われていることに驚いたと云います。祭り行事の伝統が引き継がれていて、大変うれしいと語り、この年齢になって昨秋は神輿を担がせてもらったと、懐かしそうに話されていました。